

第73回三島市美術展 入賞者一覧

【日本画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ
市長賞	102	雨宮 里美	苔の森	25号
議長賞	103	佐藤 末美	雪椿	F30号
教育長賞	117	望月 正昭	黄金崎	F12号
奨励賞	107	古屋 恵	ごあいさつ	F8号

〔審査員講評〕

全体として、昨今の制作に関わる環境の悪化は特に日本画には影響もあったが、これにめげず力強い作品がありました。

市長賞：「苔の森」は絵の中に引込まれるようなすばらしい精神性と技術力が表現され絵の本質を極められている。議長賞：「雪椿」はすばらしい観察力から雪の降る中、ひたむきに咲く椿の情緒と力強さを感じる作品となりました。教育長賞：「黄金崎」は素朴な表現と雰囲気の中、ダイナミックな構成と豊かな色彩感が特に美しく感じられている。奨励賞：「ごあいさつ」は何故か心癒される画面で猫の描写が良く、顔の表情が特にすばらしく、日本画の幅を広げている。

今後の期待は、感動する制作を楽しく続けてください。

審査員 松山 英雄、山崎 照代

【洋画の部】

賞	目録No.	氏名	題名	サイズ、技法
市長賞	226	神山 栄一	ピアノ五重奏	620×680
議長賞	213	安保 昇	観てるぞ！	900×600
教育長賞	202	門矢 光恵	春光	10号
奨励賞	206	石川 俊一	トムラウシ山	10号
奨励賞	214	岩影 勘七郎	INBOUND で 御座敷 DO SWAY	860×535
奨励賞	217	荻原 峻	港で待つ女性(沼津)	F20号
奨励賞	230	高橋 友子	野の春	750×550

〔審査員講評〕

全体の印象として、適正なサイズでテーマを見つめた力作揃いでした。表現としては、具象が多い印象です。

市長賞は細部の描き込み、人物の描き分けが全体に広がり、旋律を感じさせる作品でした。議長賞は油彩が多い中、唯一の版画作品です。タイトルの通り世相を反映する何かを感じました。教育長賞は一転、落ち着いたある色調と伸びやかな筆致で卓上の風景が表現されています。最後にやや小ぶりのため、賞にはもれましたが、夕焼け空に佇むアンテナの作品も印象的でした。それぞれのテーマを表現している力作が揃い見応えがありました。更なる表現の進化を期待しています。

審査員 福王 寛子、横井山 泰

【写真の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	339	細川 純也	光と影
議長賞	343	松村 賢司	ジャンプ
教育長賞	323	小澤 美津江	存在の痕跡
奨励賞	329	金田 教子	入学式の朝
奨励賞	334	片岡 悦夫	色いろいろ
奨励賞	337	小池 佳広	キャンバス
奨励賞	308	金井 泰憲	舞いあがれ

〔審査員講評〕

全体的に「あと一步」という惜しい作品が多いように感じました。この写真で何を表現するのかというテーマが明確になっているか、そしてそのテーマを表現するのにふさわしい精図やプリントになっているのかが大切です。その「あと一步」で入選に値するようになる作品が多数ありました。その中で市長賞の作品は、この場面への気がつきと柿や影等の配置と全体の画面構成、そして効果的な光の利用等、作者の力量を感じさせられる写真でした。デジタル化で同じ写真でも様々に作品の表情を変えることができます。カメラやソフトをおもちゃのように楽しんでください。

審査員 岡部 稔、村上 益男

【書道の部】

賞	目録No.	氏名	題名
市長賞	409	佐藤 紫香	銭起詩
議長賞	419	河野 浩美	夏と秋と
教育長賞	404	馬場 宏	張九齡詩
奨励賞	414	麻生 菁勝	君が家に
奨励賞	408	芹澤 愛彩	臨呉昌碩

〔審査員講評〕

全体的に落ち着いた作品が多かった印象でした。
市長賞は、線の確かさが表われ練度の高い作品でした。議長賞は、紙の色をうまく生かした明るい作品になりました。教育長賞は、潤いある墨量で素直な書きぶりに好感が持てる作品でした。
今後は、練度に加え時には自分の殻を破る事も必要かなと思いました。是非、挑戦される事を期待しています。

審査員 鈴木 玉翠、増田 文杏

【総合美術・工芸の部】

賞	目録No.	氏名	題名	技法
市長賞	516	川瀬 理央	刻 C&S	陶芸
議長賞	530	山口 誠二	パサディナの野鳥	紙粘土
教育長賞	506	長澤 武司	銅鍛造花器 ながれ	鍛金
奨励賞	503	土屋 智子	るんるん わくわく IZU 伊豆 いいね	陶芸
奨励賞	521	後藤 和子	阿弥陀二十五菩薩来迎図	仏画

〔審査員講評〕

総合美術、工芸部門の総評として、全体的に技術的な面や表現力・世界観の高い創造性を感じる作品に評価の重点を置いています。それ故、各賞の選出には大変苦労いたしました。市長賞の「刻C&S」は、白い磁器カップの技術と独自表現が素晴らしいです。議長賞「パサディナの野鳥」は伊豆に棲息する野鳥をじっくり観察していて心和みます。教育長賞「銅鍛造花器ながれ」は、プロ級の技術で制作され素晴らしいです。奨励賞「るんるんわくわくIZU伊豆いいね」は、伊豆旅行キャンペーンのような場面でもっと大きな作品で観賞したい作品です。仏画「阿弥陀二十五菩薩来迎図」は、丁寧に作品表現されています。

審査員 鈴木 健司、村上 直子